

付録 29

失われたバスマラ

コーランのすべての章（スーラ）は、第 9 章を除いて、「慈悲あまねく、慈愛深き神の御名において」という一節で始まります。これは「バスマラ」として知られている。この第 9 章におけるバスマラの顕著な欠如は、14 世紀もの間、クルアーンの興味深い特徴とされてきました。この現象を説明するために、これまで多くの説が提案されてきました。

そして現在、この失われたバスマラが、以下の 2 点において重要な役割を果たしていることが分かっている。[1] コーランの数学的奇跡の重要な構成要素であること、そして [2] 第 9 章が改ざんされており、浄化されなければならないという、「慈悲あまねく慈愛深き御方

（神）」からの明白な徴（しるし）であること（付録 24 参照）である。失われたバスマラが持 [1] バスマラは 19 のアラビア文字で構成されており、一つの章を除いてすべての章の冒頭に置かれているため、クルアーンの「19」に基づいたコード（暗号）が築かれる基礎とみなすことができます。しかし、第 9 章にバスマラがないことで、この極めて重要な冒頭文の総数は 113 となり、クルアーンのコードとは一致しなくなります。ところが、この不足分は第 27 章で補われていることがわかります。第 27 章にはバスマラが 2 回登場します。一つは冒頭、もう一つは第 30 節です。これにより、クルアーン全体のバスマラの総数は 114 (19×6) となり、元の数に戻るのです。

[2] バスマラが欠如している第 9 章から、余分なバスマラがある第 27 章までは、ちょうど 19 の章があります。

[3] 欠如した第 9 章から余分な第 27 章までの章番号の合計 ($9+10+11+12+ \dots +25+26+27$) は 342 (19×18) となります。これは数学的な性質であり、連続する 19 の数字を足せば必ず 19 の倍数になります。しかし、奇跡的な現象なのは、この「342」という数字が、第 27 章の最初のバスマラから、27 章 30 節にある 2 番目のバスマラまでの**単語数**と一致している点です。

[4] 27 章 30 節に余分なバスマラが出現することは、「章番号+節番号」が 19 の倍数になるという点でもクルアーンのコードに合致しています ($27+30 = 57 = 19 \times 3$)。

[5] 第 30 節に余分なバスマラが現れることは、第 74 章の第 30 節において「19」という数字そのものが現れることと対比されます。

[6] クルアーンには番号の振られた節が 6234 あります。第 9 章にバスマラがなく、それが第 27 章 30 節で補われていることにより、番号の振られたバスマラが 2 つ (1:1 と 27:30)、番号

の振られていないバスマラが 112 あることになります。これにより、クルアーンの総節数は $6234+112 = 6346$ (19×334) となります。

[7] 欠如したバスマラから余分なバスマラまでの間で、「アッラー（神）」という言葉を含む節の数は 513 (19×27) です。ここで「27」が、余分なバスマラが出現する章の番号であることに注目してください。データは表 1 に記載されています。

表 1：失われたバスマラから追加されたバスマラまでの間で「アッラー」という語を含む節

章番号（スーラ）	「アッラー」を含む節数
9	100
10	49
11	33
12	34
13	23
14	28
15	2
16	64
17	10
18	14
19	8
20	6
21	5
22	50

23	12
24	50
25	6
26	13
27	6
---	---
342 (19×18)	513 (19×27)

[8]失われたバスマラから追加されたバスマラまでの間における、節番号の合計 (1+2+3+…+n) に節数を加えた総計は **119624** となり、これは **19×6296** に等くなる。表 2 参照

表 2：失われたバスマラから追加されたバスマラまでの章と節

章 (スーラ)	節数	節番号の合計
9	127	8128
10	109	5995
11	123	7626
12	111	6216
13	43	946
14	52	1378
15	99	4950

16	128	8256
17	111	6216
18	110	6105
19	98	4851
20	135	9180
21	112	6328
22	78	3081
23	118	7021
24	64	2080
25	77	3003
26	227	25878
27	29	435
---	---	---
342	1951	117673
$342+1951+117673=119624=19 \times 6296$		

[9] この項目は、スーラ 9 が 129 節ではなく **127 節** から成ることを示している（付録 24 参照）。127 の各数字の和は： $1 + 2 + 7 = 10$ になる。スーラ 9 の失われたバスマラからスーラ 27 の追加バスマラまでの範囲で、「数字の合計が 10 になる節」をすべて見つけ、その数を総節数に加えると： $2128 = 19 \times 112$ になる。（表 3）。

表 3：数字の合計が 10 になる節（失われたバスマラから追加バスマラまで）

章番号	節数	出現回数
9	127	12
10	109	10
11	123	11
12	111	10
13	43	3
14	52	4
15	99	9
16	128	12
17	111	10
18	110	10
19	98	9
20	135	12
21	112	10

22	78	7
23	118	11
24	64	6
25	77	7
26	227	22
27	29	2
---	---	---
342	1951	177
$1951 + 177 = 2128 = 19 \times 112$		

[10] スーラ 9 は奇数番号の章であり、節数 (127) も奇数である。失われたバスマラから追加されたバスマラまでの間には、この性質 (章番号も節数も奇数) を持つ章が 7 つある。それはスーラ 9、11、13、15、17、25、27 です。表 4 のとおり、これらの章番号および節数を構成する数字の合計を足すと： $114 = 19 \times 6$ となる。

表 4：章番号も節数も奇数である章

章番号	数字の合計	節数	数字の合計
9	9	127	10
11	2	123	6
13	4	43	7

15	6	99	18
17	8	111	3
25	7	77	14
27	9	29	11
---	---	---	---
	45		69
$45 + 69 = 114 = 19 \times 6$			

[11] 次の2つの特徴は、欠如したバスマラと第9章の節数（2つの偽の節が混入されていた場所）の両方が真実であることを証明している。表4に記載されているのと同じ章、つまり「章番号が奇数」かつ「節数も奇数」である章を取り出し、各章番号の後にその節数を並べて一つの長い数字（30桁）を作ると、その数字は19の倍数になる（図1参照）。

[12] 表4に記載された章を使って、さらに検証を続けよう。これらは、バスマラが欠如している章から余分なバスマラがある章までの間で、「章番号が奇数」かつ「節数も奇数」である章のことです。各章の番号を書き、その後その章の全節の「下一桁の数字」を順に並べていくと、最終的に1988桁という長い数字になるが、これは19で割り切ることができる（図2参照）。

<p>9 127 11 123 13 43 15 99 17 111 25 77 27 29</p> <p>各章番号の後に、その章の節数を並べています。</p> <p>この長い数字は、$19 \times 48037427533385052195322409091$ に等しくなる。 【図1】</p>
--

<p>9 1234567890123... .. 27 1234567890 ... 789</p> <p>章番号の後に、その章のすべての節番号の下一桁を並べている。 【図2】</p>
